

第33回日本脳死・脳蘇生学会 総会・学術集会 プログラム

7月24日（土）
（ライブ配信）

8：55～9：00

開会の挨拶

埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター

埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター 荒木 尚

9：00～10：00

シンポジウム1：小児の脳蘇生—常識への挑戦—

座長：埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 大宅 宗一

S1-1 頭部外傷患者におけるトラネキサム酸投与の有効性：Systematic Reviewからの一考察

日本医科大学救急医学教室 横堀 将司

S1-2 小児頭部外傷における凝固線溶系障害の経時変化の特徴

日本医科大学附属病院高度救命救急センター 中江 竜太

S1-3 肺塞栓症に対してVA ECMO施行中に頭蓋内出血を合併するも神経学的後遺症なく救命できた1例

あいち小児保健医療総合センター集中治療科 神野 眞輔

S1-4 溺水による心肺停止に対する脳低温療法。良好な転帰を得た乳児の一例

大阪府三島救命救急センター 小畑 仁司

10：00～11：00

教育講演1

座長：日本体育大学大学院保健医療学研究科 横田 裕行

脳蘇生：脳を守るための方策

日本医科大学救急医学教室／日本医科大学附属病院救命救急科 横堀 将司

11：05～12：05

スポンサードセミナー1

座長：藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科 加藤 庸子

Pan-hemispheric Injury in Abusive Head Trauma—What Causes It and What Does It Mean for Mechanism and Treatment?

Director of the Pediatric Neurosurgery Department, Massachusetts General Hospital
Director, Neurosurgical Trauma and Intensive Care Ann-Christine Duhaime

12:10～13:10

スポンサードセミナー2

座長：香川大学医学部救急災害医学 黒田 泰弘

Multimodal monitoring and keys for improving outcomes of severe pediatric TBI?

Professor and Head of Paediatric Neurosurgery, University of Cape Town
Red Cross Children's Hospital and Groote Schuur Hospital Anthony Figaji

13:15～13:35

総会

13:35～14:35

教育講演2

座長：埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター

埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター 荒木 尚

障がいとは個性

～障がい者と健常者がともに活動できる陸上クラブの取り組みとスポーツを通じた共生社会の実現～

特定非営利活動法人シオヤレクリエーションクラブ 塩家 吹雪

14:45～15:55

ワークショップ：障害を持つ子ども達と生きる社会

座長：東京医科大学脳神経外科

三木 保

聖マリアンナ医科大学東横病院脳神経外科

小野 元

WS-1 一ありのまま輝く—医療機器と共に生きる子どもたち

特定非営利活動法人アンリーシュ 金澤 裕香

WS-2 社会的擁護を担う乳児院の機能と現状

康保会玉淀園 松本 敦子

WS-3 いわゆる重症心身障害児診療をまじめに、明るく導いていくために

埼玉県立小児医療センター総合診療科 田中 学

15:55～17:25

シンポジウム2：小児の重症脳損傷と家族ケアの確立

座長：飯塚病院

名取 良弘

聖隷浜松病院救命救急センター

渥美 生弘

指定発言：公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 大宮かおり

S2-1 子供の脳死が疑われたとき家族は何を思うのか～長期の家族取材から見たこと～

NHK報道局社会番組部ディレクター 北條 泰成

S2-2 当院で経験した小児の臓器提供における家族支援—MSW兼院内移植コーディネーターの立場から—

都城市郡医師会病院救急科 平川 薫

S2-3 伊勢赤十字病院における臓器提供体制の確立

伊勢赤十字病院脳卒中センター 脳神経外科／臓器提供対策室 宮 史卓

S2-4 脳死下臓器提供をする子どもと家族への支援

天使大学看護栄養学部 日沼 千尋

S2-5 臓器提供の意思があったが、虐待の可能性が否定できず臓器提供にいたらなかった1例

聖隷浜松病院救急科 有松 優行

17：25～

閉会の挨拶

埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター

埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター 荒木 尚

7月26日(月)～8月20日(金)
(オンデマンド配信)

特別提言

脳死判定標準化の国際潮流；岐路に立つわが国に必要な視点

国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学 永山 正雄

一般演題

O-1 当施設での脳死下臓器移植への取り組み

関西医科大学総合医療センター脳神経外科 岩瀬 正顕

O-2 当センターにおける脳死下臓器提供の院内体制整備の取り組み

あいち小児保健医療総合センター看護部外来 森 千春

O-3 当センターにおける小児の脳死下臓器提供の経験

埼玉県立小児医療センター小児救命救急センター 植田 育也

O-4 臓器提供にいたらなかった乳児の脳死症例

済生会滋賀県病院救命救急センター・救急集中治療科 塩見 直人

O-5 当院PICUにおける脳死が疑われた症例の臨床経過に関する検討

埼玉県立小児医療センター集中治療科 新津 健裕

O-6 両側瞳孔散大で来院し救命し得た急性硬膜下血腫小児の一例

日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 柴田 あみ

O-7 小児からの心停止下臓器提供事例

聖マリアンナ医科大学東横病院脳神経外科 小野 元